

新しいリスクコミュニケーションツールの体験ワークショップ
—クイズと討論により正しい知識の習得を目指す—

1. 趣旨

クイズと話し合いを通し食品安全への関心を深め、問題に挑戦し討論する中で正しい知識に到達することを目指す、新しい参加型リスクコミュニケーションツール（仮称：食品安全検定（課題ごとの Q&A 採点方式））を体験し、この方式の長所短所について討論する。将来は、消費者や食品事業者等との対話・意見交換等の場におけるコーディネーターやファシリテーターのツールとして活用することを目的とする。

2. プログラム

(1) 開催日時 平成 21 年 10 月 22 日（木）13 時から 17 時

(2) 場所 (財) 東京都中小企業振興公社第 1 会議室

(3) 講演、ツールの体験及び討論（意見交換）

挨拶 「食科協」理事長 林 裕造

座長 「食科協」常任理事 北村忠夫

(1)講演 (13時40分～14時40分)

新しいリスクコミュニケーション手法の趣旨と手順の解説

(独) 食品総合研究所特別研究員 関澤 純

休憩

(14時40分～15時)

(2)グループごとの食品安全検定の体験と改良点の討論

(15時～16時10分)

(3)グループごとの報告と全体討論

(16時10分～50分)

(4)まとめ

(16時50分～17時)

(5)アンケート調査

3. 閉会

(17時)